2025 年 6 月 24 日

伊丹市
日揮ホールディングス株式会社
株式会社レボインターナショナル
合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

伊丹市と持続可能な航空燃料への資源化促進等に係る連携及び協力に関する協定の締結
～伊丹市で回収した廃食用油が SAF に～

兵庫県伊丹市（市長：中田 慎也、以下「伊丹市」）、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長兼社長 CEO 佐藤 雅之、以下「日揮 HD」）、株式会社レボインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也、以下「レボインターナショナル」）および、合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表者：髙田 岳志、以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」）は、持続可能な航空燃料 SAF（Sustainable Aviation Fuel、以下「SAF」）の原料となる使用済み食用油（以下「廃食用油」）の資源化促進を図るため、「持続可能な航空燃料への資源化促進等に係る連携及び協力に関する協定」（以下「本協定」）を 2025 年 6 月 24 日に締結し、同日、伊丹市役所内にて協定締結式を執り行いました。

なお、本協定に基づいて伊丹市が SAF の原料向けに提供する廃食用油は年間でおよそ 29,000 リットルを見込んでいます。

また、伊丹市は家庭や店舗などで発生する使用済み食用油を原料とする SAF を用いて、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクト「Fry to Fly Project」に同日付で参加しました。

大阪国際空港（伊丹空港）の所在する伊丹市と協定を締結し、４者が相互に連携することで、安定的な国産 SAF 製造を進めてまいります。

協定締結式の様子（左から日揮 HD の秋鹿正敬専務執行役員、伊丹市の中田 慎也市長、レボインターナショナルの越川哲也代表取締役 CEO、SAFFAIRE SKY ENERGY の西村勇毅最高執行責任者 COO）

【協定の趣旨】

伊丹市では、市内 11 か所の公共施設等で廃食用油の回収を実施してきました。廃食用油は SAF の原料となる貴重な資源ですが、多くの家庭では廃棄されているのが現状です。大阪国際空港（伊丹空港）の所在する伊丹市において、廃食用油を SAF とし、その燃料で飛行機が飛ぶことは、市民一人ひとりが脱炭素に貢献できることを実感していただける取組です。また、今回協定を締結した４者で連携・協力することで、持続可能な循環型社会や脱炭素化社会の形成に貢献します。

【協定の主な内容】

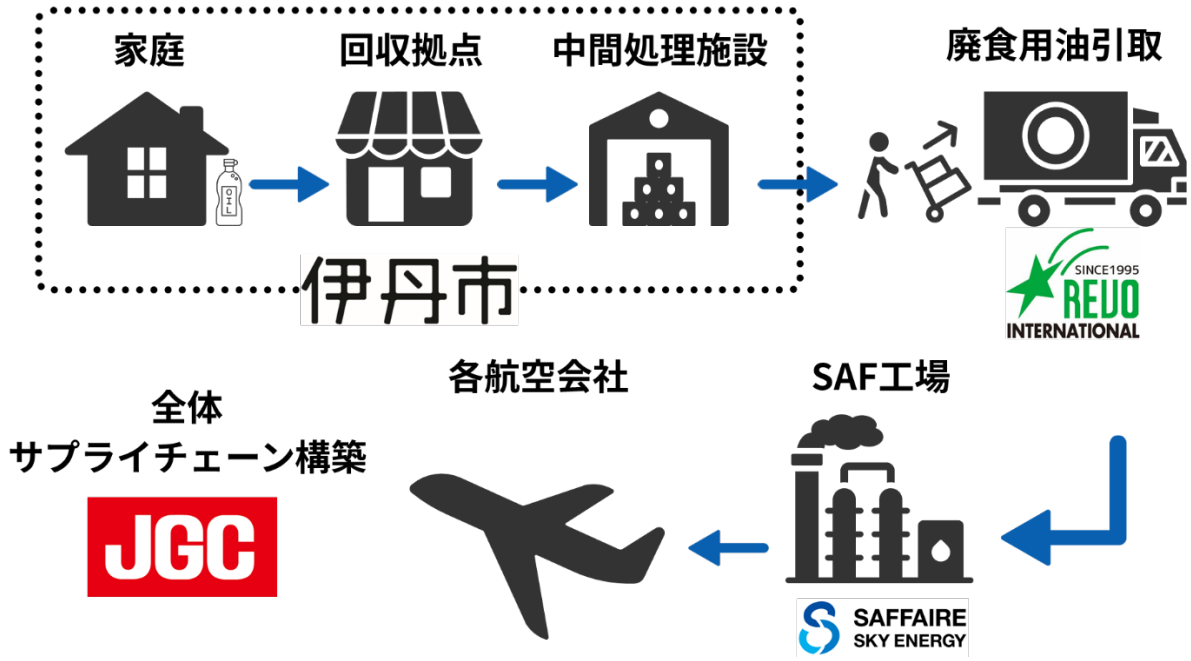
（1）家庭系廃食用油（食用の植物油）の回収に関すること
（2）廃食用油の運搬、SAF の製造に関すること
（3）廃食用油が SAF として再資源化されることの一連の仕組みの構築及び社会実装に関すること
（4）廃食用油が SAF として再資源化されることに係る環境学習に関すること
（5）廃食用油が SAF として再資源化されることの情報発信に関すること
（6）その他、本協定の趣旨を実現するために必要なこと

【協定に基づく具体的な取り組み】

伊丹市内の市庁舎や市立体育館をはじめとする公共施設 11 箇所で伊丹市が回収した廃食用油をレボインターナショナルが収集し、国内初の SAF 大規模生産を行う SAFFAIRE SKY ENERGY のプラント（コスモ石油堺製油所内、2024 年 12 月完工）へ運び、国産 SAF の原料として資源化します。

加えて、市内の給食センターなど市が運営する事業系廃食用油も来年度以降 SAF 製造向けへの提供を検討します。

また、市民の皆様へ廃食用油による資源循環の取組みを周知するため、毎年 11 月に伊丹市が実施している環境イベントにおいて廃食用油が SAF になるまでの工程を市民に広く知ってもらう体験を予定しています。



【SAF（Sustainable Aviation Fuel）について】

バイオジェット燃料を含む持続可能な航空燃料。原料として廃食用油、サトウキビなどのバイオマス燃料や都市ごみ等を用いて製造するもので、航空機や給油設備の変更をせずとも利用でき、製造から使用までのライフサイクル全体で約 84%の CO2 排出削減効果が得られます。

参考：国土交通省「空のカーボンニュートラル SAF の導入促進　航空機運航分野の脱炭素化」
URL：https://www.mlit.go.jp/koku/jigyousha.html#saf

【国内初の SAF 大規模生産事業の概要】

日揮 HD、レボインターナショナルおよびコスモ石油は、共同で SAF のサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2021 年に NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）の「国産廃食用油を原料とする SAF 製造サプライチェーンモデルの構築」助成事業に採択※されました。2022 年 11 月に新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立。国内唯一の国産 SAF 大規模製造設備は 2024 年 12 月に完工し、2025 年 4 月から供給を開始しました。

※NEDO ホームページ：https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html

建設が完了した SAF 製造装置

SAF の原料である廃食用油受け入れ施設

【Fry to Fly Project について】

「Fry to Fly Project」は、家庭や店舗などで発生する使用済み食用油を原料とする SAF を用いて、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。プロジェクトは日揮 HD が発起人となって設立し、設立主旨に賛同する企業・自治体・団体が、家庭や飲食店など身近なところで発生する廃食用油の提供を通じて、日本国内における資源循環の促進に直接参加しています。

特設ホームページ：https://www.jgc.com/jp/esg-hsse/initiative/fry-to-fly/

【本件に関するお問い合わせ先】

伊丹市市民自治部まちづくり室生活環境課
前田・森本
TEL：072-781-5371

日揮ホールディングス株式会社
戦略企画オフィス　経営企画ユニット　広報グループ　伊達、Lin（リン）
TEL：045-682-8026

株式会社レボインターナショナル
運営管理部　　広報 奥村
TEL：075-353-2277